

都市再生整備計画 事後評価シート  
JR酒々井駅周辺地区

令和4年3月

千葉県印旛郡酒々井町

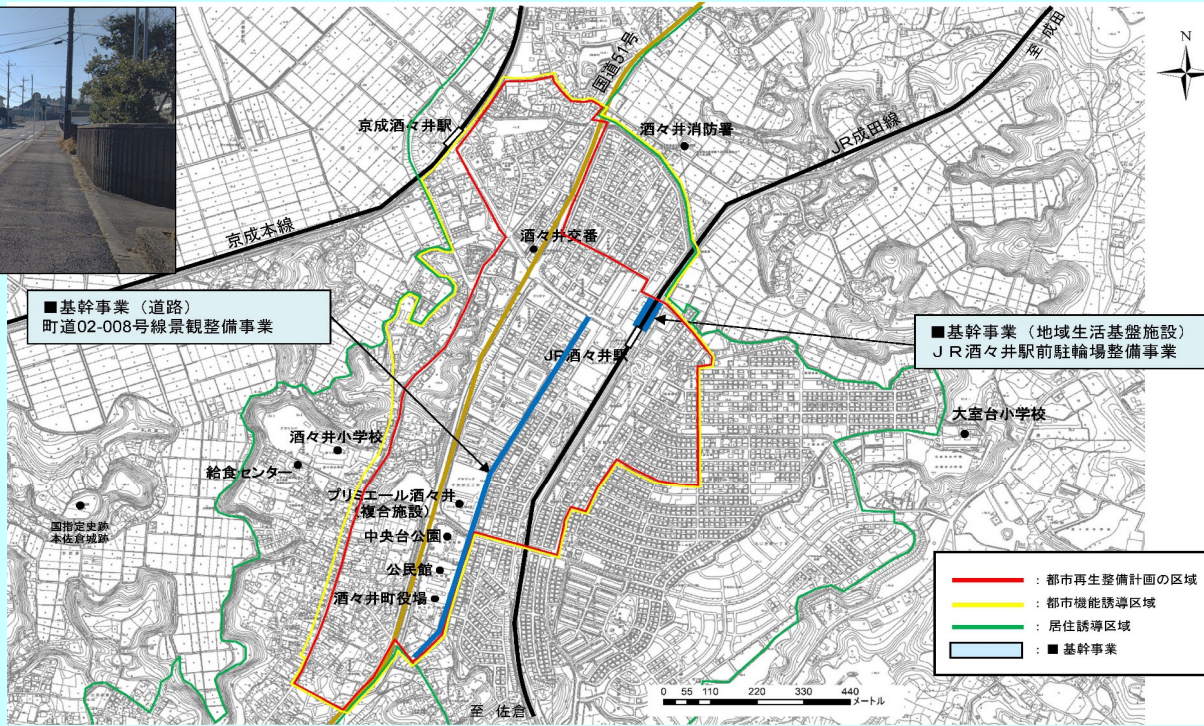
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	酒々井町	地区名	JR酒々井駅周辺地区			面積	40ha		
交付期間	平成28年度～令和2年度	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	136.2	国費率	0.408				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名								
	基幹事業	JR酒々井駅前駐輪場整備事業									
	提案事業										
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	基幹事業	上野作跨線人道橋スロープ整備事業、(町道01-006号線)駅前無電柱化事業、(町道02-008号線)駅前無電柱化事業、(町道2B-061号線)街なか道路改築事業	スロープ整備事業、駅前無電柱化事業、街なか道路改築事業: 計画期間内の完了が困難のため削除			影響なし					
	提案事業										
新たに追加した事業		基幹事業	(町道02-008号線) 景観整備事業			将来予定している無電柱化事業の事前工事として事業を追加			影響なし		
提案事業											
交付期間の変更		当初変更	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値 モニタリング 評価値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	指標1	迷惑駐車台数	台	100 平成27年度	10以下 令和2年度	-	0	○	ありなし	自転車駐輪場整備の直接的効果により、迷惑駐車台数を削減することができた。	
	指標2	定住世帯	世帯	20 平成27年度	38 令和2年度	-	21	×	ありなし	● 目標は達成しなかったものの、自転車駐輪場整備により駅周辺の利便性や快適性が向上し、定住世帯維持に貢献できた。また、景観整備事業が完了し、防災性や景観が向上することにより、定住促進につながると想定される。	令和4年4月
	指標3								ありなし		
	指標4								ありなし		
	指標5								ありなし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値 モニタリング 評価値		目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の数値指標1	若年人口の減少抑制(15～34歳)	%/5年間	△8 平成27年度		-	△6			平成23年から27年の減少率が8%に対して、平成28年から令和2年の減少率が6%と、減少を抑えられているため、効果をあげた。	令和4年4月
	その他の数値指標2	居住世帯	世帯	3,011 平成27年度		-	3,102			自転車駐輪場整備により駅周辺の利便性や快適性が向上され、地区内の世帯数が増加した。また、景観整備事業が完了し、防災性や景観が向上することにより、定住促進につながると想定される。	令和4年4月
	その他の数値指標3										
4) 定性的な効果発現状況											
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

## 様式2-2 地区の概要

### JR酒々井駅周辺地区(千葉県印旛郡酒々井町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地である駅周辺の利便性向上を図り、町の玄関口としての景観と防災機能向上も図り、町民や来訪者が安心して定住、回遊ができるまちづくりを目指す。</li> <li>町の中心市街地である駅周辺の機能を改善し、町民や来街者の利便性と景観の向上を図る。</li> <li>未利用地を利用し、若年世帯の定住促進を図る。</li> </ul>	迷惑駐車台数	単位:台	100 H27	10以下 R2	0 R2
	定住世帯	単位:世帯	20 H27	38 R2	21 R2
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車駐輪場整備により、迷惑駐車が削減されたため、安心安全で快適に歩ける歩行空間が確保された。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者の流出を抑えるとともに、若年世帯が安心安全に生活できる道路環境の整備を図る。</li> <li>魅力ある居住環境の維持を図る。</li> </ul>